

# 津波漂流物について ～準備書面(73)～

弁護士 丸山幸司

# マニュアルに基づき対応するから漂流しないのか？

- 被告は、5トン未満の漁船は漂流する可能性を認めている

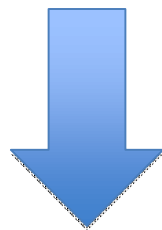
矛盾ではないのか？ どのように説明する？

# 係留避泊するから漂流しないのか？

- 八戸港、宮古港、釜石港、気仙沼港、石巻港、仙台塩釜港、小名浜港などで係留中の船舶が漂流している。
- 榊原ほかの調査研究では、津波高さ4m以上で係留避泊不可能と推定している。

# 交互に津波が押し引きするので原発 まで到達しない？

- 鹿島港でも押し波で、約2.2キロメートル(直線距離)、引き波で約3.2キロメートル(直線距離)移動している



東海第二原発に十分到達しうる

# 水粒子の軌跡の解析によれば大型船舶が漂流しても到達しない

- 漂流した場合の軌跡は、当然ながら質量によっても影響されるはず。



なぜ「水粒子＝大型船舶」？

# 船舶被害写真特集(甲D107)

